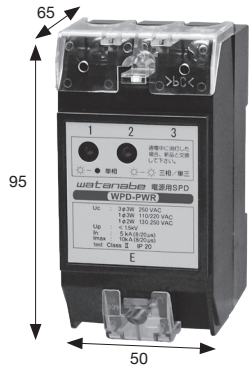
電源用SPD

WPD-PWR



標準価格：16,000円

特　長

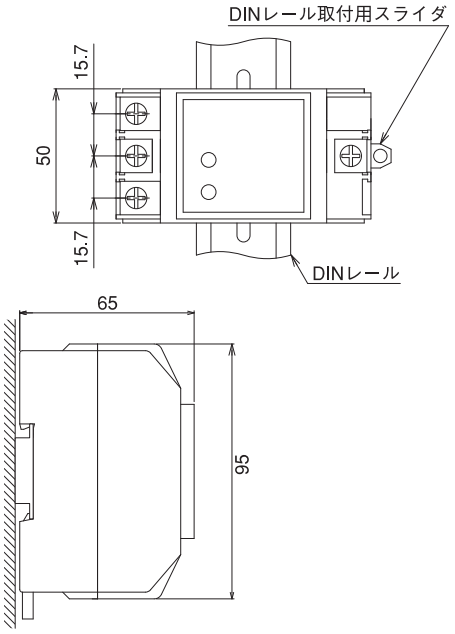
- 低圧電源用のSPD
- 100V/200V回路兼用
- JIS C 5381-11:2014 クラスⅡ対応
- 本体に劣化表示LEDを搭載
- 1台で線間と対地間を保護
- 盤内設置が容易なDINレール対応
- 特定有害物質非含有製品

型　式

WPD — P W R — 0

シリーズ	用途	付番	内容
WPD			SPD
	PWR		低圧電源用
		0	標準品

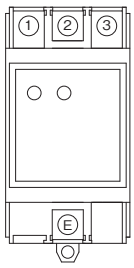
外形寸法図



仕　様

最大連続使用電圧	AC130V、250V（単相2線） AC110V/220V（単相3線） AC250V（三相3線）
公称放電耐量(8/20μs)	5kA×15回（ClassⅡ、線間、対地間）
最大放電耐量(8/20μs)	10kA×2回（ClassⅡ、線間、対地間）
電圧防護レベル(Up)	1300V以下（線間） 1500V以下（対地間）
定格短絡電流	10kA
漏れ電流	3mA以下（線間） 10μA以下（対地間）
応答時間	3ns以下（線間） 0.1μs以下（対地間）
動作開始電圧	DC540V±15%
放電開始電圧	DC1000V±20%
使用温湿度範囲	−20℃～+55℃　90%RH以下（非結露）
取付方法	DINレール取付または壁面取付
使用電線範囲	5.5mm²～14mm²
推奨締付けトルク	2.0N·m～2.5N·m
外形寸法	95（H）×50（W）×65（D）mm
質量	約170g
保護等級	IP20
試験クラス	JIS C 5381-11:2014 クラスⅡ

端子配列



（単相2線）

No.	記号	内容
1	P1(L1)	入力信号
2	P2(L2)	
3	NC	空端子
E	F.G.	アース

（単相3線/三相3線）

No.	記号		内容
1	P1(L1)	R(1)	電圧入力
2	P2(L2)	S(N)	
3	P3(L3)	T(2)	
E	F.G.		アース

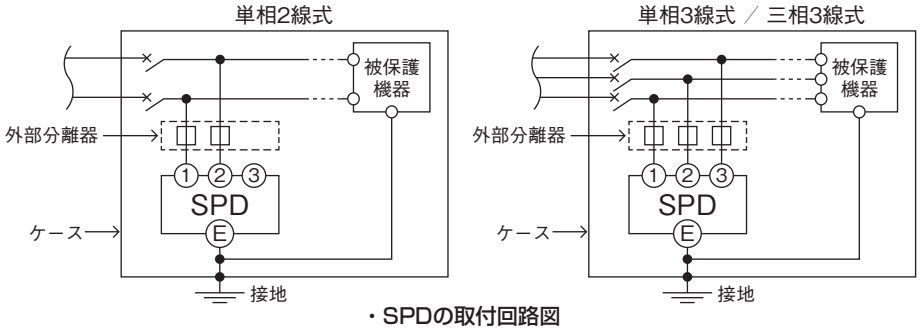
取り扱い

1. 使用例

万一SPDが破損した場合、およびSPDの点検時には、他の機器への影響を防止するために次の事項を厳守してください。

① 盤･ケース等に収納してください。

② SPDの一次側には、当社指定の別売外部分離器(ヒューズ及びヒューズホルダ)を設置してください。
(ヒューズ型式：FDS-20kA-NB、ヒューズホルダ型式：US141)



・SPDの取付回路図

2. 配線について

(1) SPDの接続端子(M5ネジ)への接続は、圧着端子または銅バーを使用してください。

(2) 接続端子(M5ネジ)の締め付けトルクは、2.0N･m～2.5N･mで締め付けてください。

(3) 線路側の配線は2.0mm²～14mm²、接地側の配線は5.5mm²～14mm²の絶縁電線、または銅バーを使用し、最短で配線し確実に接続してください。

(4) 保護等級IP20を確保するために、圧着端子は絶縁被覆付きを使用、または絶縁被覆付きでない場合は、絶縁チューブを被せて導電部が露出しないようにしてください。銅バーの場合も同等の絶縁処理を行ってください。

(5) SPDの接地は、分電盤の接地を行い、分電盤内の接地端子に接続してください。保護効果を上げるために機器の接地線は、分電盤内の接地端子に接続してください。分電盤接地端子に接続できない場合、分電盤接地線と機器の接地線を接続して1点で接地してください。分電盤接地線と接続しない場合、機器を保護できない場合があります。

表示機能

- メンテナンスは毎年、襲雷シーズン前後および襲雷直後にその都度必ず確認を行ってください。
- メンテナンスをする場合、感電の恐れがありますので、SPD機能表示ランプ(LED)の点灯確認以外は、必ずSPD外部分離器を切ってください。

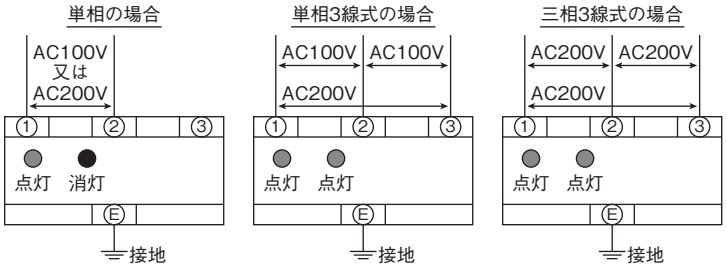
以下の状態となっている場合､SPD本体およびヒューズを交換してください。

(1) ケース外装樹脂に変色、変形がある場合

(2) 電源を接続した状態で本体のLEDが消灯している場合

(3) SPDの各線間(L1-L2間､L1-L3間､L2-L3間)の絶縁抵抗が「250Vメガーで10MΩ以上かつ500Vメガーで10MΩ以下」の値を満足していない場合

(4) SPDの①②③各端子とE端子間の絶縁抵抗を測定し、絶縁抵抗が「500Vメガーで10MΩ以上」を満足していない場合



・通電中のSPD機能表示ランプ点灯状態